

2月14日校長講話「葉っぱのフレディー —いのちの旅—」

今日は、校長先生「葉っぱのフレディー レオ・バスカーリア作 みらい なな訳」という絵本を読みます。

<葉っぱのフレディー 読み聞かせ>



葉っぱのフレディの「いのち」はその役目を終え、散って土に帰りました。しかし、そのフレディの「いのち」は、次の木や葉っぱへと形を変えて生き続けます。地球上の命あるすべてのものは、こうして次にバトンタッチしてなくなっていきます。

今、あなたの「いのち」も、遠い遠い昔のおじいさん・おばあさんから、あなたのお父さん・お母さんへと引きつがれ、今のあなたがいます。そして、あなたの「いのち」も、ひきつがれていきます。あなたの「いのち」は未来につながる大切な「いのち」なのです。

戸倉小学校にも、少しずつ春が訪れてきています。今度の春もまた、かもがたまごを抱いてくれるといいですね。

もう少しで 新たな命が芽生える 春が来ます。6年生は卒業し、中学校という 新しい世界に入っていきます。1年生は2年生になります。全員が、みんな一つ大人に近づきます。学校の1年も あと少しで終わります。みんなに 「ありがとう」・・・と感謝して、三学期のまとめをむかえましょう。



3年生が感想を寄せてくれました。紹介します。

フレディは友だちがたくさんいる中で楽しく生きていました。夏には公園に人が来て、フレディたちはそのかげを作ってくれているなんてすごかったです。でも冬が来て風で友だちたちは、とんでいってしまいました。そして1まいのフレディがとりのこされていて、とうとう、フレディも風でとんでいきました。でも、水と土の力でフレディは今度、「木」になります。また、木が大きくなり葉っぱができます。本当にバトンタッチをしたみたいに感じました。とてもいい「つながる命」の勉強ができて、私はうれしかったです。